繁殖犬ムッちゃんのわんダフルライフ

空知医師会
上砂川町立診療所
小松　正伸（こまつ　まさのぶ）

ムッちゃんは、我が家５代目となる８歳の黒ラブ(黒毛のラブラドールレトリバー)。私の黒ラブ飼育歴30年で最後の犬になる予定です。初代から３代目までは、プロのトレーナーにきちんと服従訓練を受けさせました。黒ラブのような大型犬は、高齢になると介護が大変。なんせ我が家の場合は、老々介護ですから。でも傍に黒ラブがいないと、やっぱり寂しい。ネット検索で三重県のブリーダーに、譲渡希望の黒ラブを発見。そもそも黒ラブなんて人気犬種が譲渡に出るのは、中古車と同じでどこか訳あり。それを知ってて、ついアクセスし、１週間休診にして、ワンコ受け取りの車旅に出ました。

ブリーダーＦさんご夫妻に見せてもらったムッちゃん（本名：武蔵）は、巨大な黒い塊。聞けば体重40kg、何人か見にきたけどみんなしり込みして帰ったそう。ウエストがなくビヤ樽そのもの。繁殖犬を引退し、無料でもいいと引き取り手を探していたとか。畳１枚程度の独房、これがムッちゃんの生活空間のすべて。ここで食事も排泄も済ませて、たくさんのメスのラブちゃんと優秀な子犬を作る（羨ましい？）犬生だったようです。大きな黒い目でこちらを優しく見つめる顔は、とってもかわいい。顔はスクエアのラブ顔貌、骨格はしっかりしている。で、その夜は町内の居酒屋で契約成立の乾杯を重ねました。

翌朝、ムッちゃんを乗せて帰路へ。車酔いしないように休憩を多く取り、徐々に私たちにも慣れさせました。しっかり餌や水を摂るのに、いつまでもトイレをしない。１日経ってだんだん不安になり、途中獣医さんに寄るかと話している時、実に出発から30時間後に北陸のサービスエリアで長々と排尿、まことに気持ちよさそうな顔。考えたら、ムッちゃんは外でトイレの習慣がなかった！

我が家のかかりつけ獣医Ｕさんによる健康診断では案の定、肝機能が引っかかり、脂肪肝でしょうと。それからは、フードを少なめに、これにジャガイモなどの野菜を乗せて、水を入れて見かけ増量で満腹感をごまかす。減量作戦は順調に進んでいるかのように、思えました……。ある日、私が持っているうちで一番高級なアンゴラ毛のマフラーが見つからない。置き忘れなんていつものことなので、あぁまたかとタカをくくっていたら、３日後にムッちゃんがヨレヨレになったマフラーを吐き出した。空腹による異食かと、その後は食われそうなものをしまい込んで仕事に出かけました。しかし、数日後にベッドカバーがめくれて、中のタオルケットがボロボロに。どうも全体量が足りない。胃部膨満なし、イレウスなし、食事や水は摂れる。そのうちまた吐き出すだろうと期待していたら、３日目に胃液を何回も嘔吐。こりゃ閉塞症状と、獣医の夜間急病センターへ。全麻下に内視鏡をすると言うけど、小型犬用の細小内視鏡とワニ口鉗子しかない。自分の経験からそんなもんでつまみ出せるかと内心危ぶんでいたら、やっぱり胃内にタオルがあるということを確認しただけ、摘出できず検査のみで15万円をカード払い。翌日、先のＵ獣医師に頼んで胃切開・異物摘出術を施行、無事に帰還しました。これが25万円。総計、子犬１匹分ほどの出費。ムッちゃんはきっと、私が留守の間に「Ｆお母ちゃん、さびしいよ〜、お腹すいたよ〜」と、泣きながらタオルケットをくわえたのでしょう。これに懲りたのか、異食はしなくなりました。

１歳を過ぎた犬にしつけは難しいと、言われます。大型犬は、ある程度しつけをしないと、こちらが引き倒されます。ムッちゃんは７年間、一度も人間の指示を受けたことがない。チェーンカラーを使い、ひたすら褒めながら、先に行かない、いっしょに歩く、止まる、また歩く。Good！とNo！の言葉を繰り返し教えて、どうにか、付いて歩けるようになりました。坐れ、立て、お手まではマスターしましたが、伏せはどうしてもやらない。彼のデカいお尻を押したって力じゃ負ける。でもまぁ、ここまで覚えてくれたのだから、大したもんです。階段を上がったことがないので、前後左右の肢を一段ずつ乗せては尻を押しての大騒動。下りる時は、手摺をつかまりながらよろよろしている老夫婦の横を駆け抜け、「どうだ」と言わんばかりのすまし顔です。悔しい……。

レトリバー種は、もともと狩猟で獲物を回収する使役犬。ふつうはボール遊びが大好きなはず。ムッちゃんは、走り回ったことがないので、ボールを投げると“それな〜に”といった表情で、見送るだけです。何度かいっしょに走っては拾いを繰り返すうちに、楽しさに目覚めたのか、一目散にボールを追い駆けるようになりました。いまはボールを使って、ハードル越えに挑戦中。運動療法と食事管理の生活習慣改善を続けたおかげで、体重は28kg、見違えるようないい男になりました。我が家に来て１年。実に穏やかな性格で、よその子犬に吠えられても完全無視。４歳の孫にリードを預けると、いっしょにゆっくり歩いてくれます。いつかまた休診にして、ムッちゃんとクラシックビールを乗せて三重県まで走り、すっきり美形になったムッちゃんをＦさん夫妻に自慢するのが、いまから楽しみです。